

誰もが暮らしやすいまちづくりのための 福祉に関するアンケート

～ご協力をお願いします～

皆さまの回答は、誰もが暮らしやすい、支え合うまちづくりに役立っています。

市民の皆さまには、日頃から市政発展のためにご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

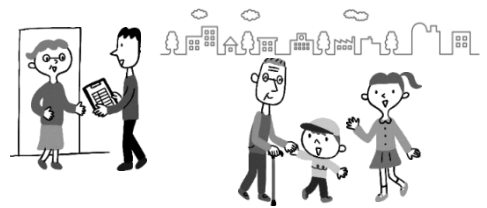
市では、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らしやすいまちづくりを一層進めるため、来年度に「地域福祉計画」「高齢者総合計画」「障害者総合計画」をそれぞれ改定いたします。

これらの計画に市民の皆さまの意見をいかすため、18歳以上の中から2,000人を無作為抽出したところ、あなたにアンケートをお願いすることになりました。

これからの福祉は市民が主役です。

例えば、地域の活動に参加したり、誰かが困っている時に声をかけたりすることも、支え合うまちづくりのひとつです。

市民の皆さまをはじめ、地域の団体や商店、学校や企業などの皆さまと一緒に、みんなで支え合うことがとても大切になります。



このアンケートは無記名です。回答は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。また、回答を調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和4年●月 調布市長 長友貴樹

～記入についてのお願い～

【回答期限】 令和4年●月●日(●)

【回答方法】 《郵送》または《インターネット》

(※あなたが回答しやすいどちらかの方法で、投函もしくは送信してください)

《郵送》 調査票による回答の方法

①封筒のあて名ご本人がお答えください。

なお、ご本人が回答することが難しい場合、ご本人の意見を聞いて、ご家族や代理の人が記入しても差し支えありません。

②回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は番号を○で囲み、()に具体的な内容を記入してください。

③質問によっては、回答数や回答者が限られる場合があります。

④回答終了後、同封の返信用封筒に入れて封緘し、回答期限までにポストに投函してください。

《インターネット》 回答の方法

①以下のURL, またはQRコードから専用ウェブサイトアクセスしてください。

②ログイン画面で下記のパスワードを入力すると回答ページに移動します。調査票と同じ質問が画面に表示されます。

③回答には 30 分程度かかります。途中保存はできませんので、お時間に余裕のある時に回答してください。

<専用ウェブサイトURL>

https *****

パスワード *****



【調査についてのお問い合わせ先】

調布市 福祉健康部 福祉総務課 担当 阿部, 下田

電話 042-481-7101(課直通)

Fax 042-481-7058

E-mail fukusou@w2.city.chofu.to

★は、令和元年調査にあった設問

★#は、同調査の設問から選択肢や回答者を変更した設問

#は、新規設問

1 あなた(ご本人)についておたずねします

問1 ★#性別を教えてください。(1つに○)

1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

問2 ★#年齢を教えてください。(1つに○) (令和4年●月1日現在)

1 10歳代	3 30歳代	5 50歳代	7 70歳代
2 20歳代	4 40歳代	6 60歳代	8 80歳以上

問3 ★#お住まいの地域を教えてください。(1つに○)

番号に○	(参考)地域に属する地区(○は不要)		
1	東つつじヶ丘1丁目, 2丁目 西つつじヶ丘1丁目, 2丁目, 3丁目	緑ヶ丘 若葉町1丁目	仙川町
2	東つつじヶ丘3丁目 西つつじヶ丘4丁目	菊野台 若葉町2丁目, 3丁目	入間町
3	佐須町1丁目, 2丁目, 4丁目, 5丁目 深大寺南町1丁目, 2丁目, 3丁目	調布ヶ丘3丁目 深大寺東町3丁目, 4丁目	柴崎
4	深大寺東町1丁目, 2丁目, 5丁目, 6丁目, 7丁目, 8丁目 深大寺元町2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目	深大寺北町 深大寺南町4丁目, 5丁目	
5	国領町1丁目, 2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目, 8丁目 布田2丁目, 3丁目	調布ヶ丘2丁目	佐須町3丁目 八雲台
6	国領町6丁目, 7丁目 多摩川6丁目, 7丁目	布田5丁目, 6丁目 染地	
7	多摩川1丁目, 2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目 布田1丁目, 4丁目	調布ヶ丘1丁目, 4丁目 深大寺元町1丁目	下石原1丁目 小島町
8	上石原 下石原2丁目, 3丁目	富士見町 飛田給	西町 野水

調布市民福祉ニーズ調査【市民(18歳以上)】

問4 ★#市内での居住年数(市外への転居期間を除く通算年数)を教えてください。(1つに○)

- | | | |
|------------|--------------|---------|
| 1 1年未満 | 4 5年以上10年未満 | 7 30年以上 |
| 2 1年以上3年未満 | 5 10年以上20年未満 | |
| 3 3年以上5年未満 | 6 20年以上30年未満 | |

問5 ★#住居形態を教えてください。(1つに○)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1 持ち家(一戸建て) | 5 公営住宅(市営・都営住宅等) |
| 2 持ち家(集合住宅) | 6 社宅・公務員住宅等 |
| 3 民間賃貸(一戸建て) | 7 上記以外 |
| 4 民間賃貸(集合住宅) | |

問6 ★#同居している家族構成を教えてください。(1つに○)

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1 ひとり暮らし | 5 ひとり親と子ども(一番下の子どもが18歳以上) |
| 2 夫婦のみ | 6 ひとり親と子ども(一番下の子どもが18歳未満) |
| 3 夫婦と親(二世帯同居) | 7 三世帯同居 |
| 4 夫婦と子ども(二世帯同居) | 8 上記以外 |

問7 ★#現在の職業を教えてください。(1つに○)

- | | |
|---------------------------------|--------|
| 1 正規の社員・職員・役員 | 5 学生 |
| 2 非正規の社員・職員(嘱託・パート・アルバイト・契約・派遣) | 6 無職 |
| 3 自由業・自営業(家業手伝いを含む) | 7 上記以外 |
| 4 専業主婦・主夫 | |

2 ご近所付き合いについておたずねします

問8 ★ご近所付き合いは、どの程度していますか。(主なもの1つに○)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 家を行き来するなど、親しくしている | 3 あいさつをする程度 |
| 2 立ち話をする程度 | 4 ご近所付き合いをしていない →付問へ |

付問★ 前問で「4 ご近所付き合いをしていない」と答えた人におたずねします。ご近所付き合いをしていない理由は何ですか。(いくつでも○)

- | |
|-----------------------------|
| 1 仕事や学業, 家事・育児などで忙しく時間がないから |
| 2 引っ越してきて間もないから |
| 3 普段, 付き合う機会がないから |
| 4 同世代の人が近くにいないから |
| 5 気の合う人や話の合う人が近くにいないから |
| 6 あまり関わりをもちたくないから |
| 7 その他(具体的に: _____) |



コラム 支え合う地域づくりのために、あなたもはじめてみませんか？



ポイント1 あいさつから はじめよう
(地域の人とつながるために)

ポイント2 見守ってみよう
(おせっかいな気持ちで)

ポイント3 ひとりでできなくても
(地域の人と一緒に)

出典:調布市地域福祉計画

3 市民同士の支え合い, 地域活動についておたずねします

問9 ★あなたは次の事柄について, 家族以外のまわりの人から手助けをしてほしいと思いますか。また, まわりの人に手助けできること(してもいいこと)はありますか。①手助けしてほしいか, ②手助けできるかについて, それぞれ1つに○を付けてください。

	①手助けしてほしいか		②手助けできるか	
	してほしい	してほしくない	できる・してもいい	できない・しない
回答例	①	2	①	2
ア 安否確認の声かけ	1	2	1	2
イ ちょっとした買い物やごみ出し	1	2	1	2
ウ 食事や掃除・洗濯の手伝い	1	2	1	2
エ 通院の送迎や外出の手助け	1	2	1	2
オ 子どもの預かり	1	2	1	2
カ 話し相手や相談相手	1	2	1	2
キ 災害時避難の手助け	1	2	1	2
ク 具合がよくない時に病院などに連絡する	1	2	1	2

問10 #家族以外のまわりの人に, 問9 ア～クのような手伝いや手助けをする(してもらう)にあたり, どのような取組があるとよいと思いますか。(いくつでも○)

1 手助けしてほしい人と手助けできる人をコーディネート(紹介)する仕組み 2 手助けしてほしい人や事柄を知ることのできる仕組み 3 手助けできる人の人柄やスキルを知ることのできる仕組み 4 その他(具体的に: _____) 5 取組は必要ない(できる時はする) 6 わからない
--

調布市民福祉ニーズ調査【市民(18歳以上)】

問11 ★#市内では多くの地域活動・ボランティア活動が行われています。①あなたは、次のような活動に取り組んでいますか、②今後、次のような活動に取り組みたいですか。(それぞれ1つに○)

	①取組状況		②今後の意向		
	取り組んでいる	取り組んでいない	取り組みたい、興味がある	取り組みまない、興味がない	わからない
回答例	①	2	①	2	3
ア 子育て世帯・青少年を支援する活動, 子ども会やPTAの活動	1	2	1	2	3
イ 高齢者を支援する活動	1	2	1	2	3
ウ 障害のある人を支援する活動	1	2	1	2	3
エ お祭りや運動会などのレクリエーション活動, 地域の伝統や文化を伝える活動	1	2	1	2	3
オ 交通安全や犯罪防止など, 地域の安全を守る活動	1	2	1	2	3
カ 防災訓練や災害時に救援・支援をする活動	1	2	1	2	3
キ 地域の環境美化, 環境保全・自然保護などの活動	1	2	1	2	3
ク 自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動	1	2	1	2	3
ケ 趣味・習いごとなどの活動	1	2	1	2	3

問12 ★#あなたが身近な活動拠点として利用している施設や場所はどこですか。(いくつでも○)

1 文化会館づくり	7 図書館
2 地域福祉センター	8 小学校・中学校
3 総合福祉センター	9 民間の施設(具体的に:)
4 市民活動支援センター	10 個人宅
5 ふれあいの家	11 その他(具体的に:)
6 公民館	12 どこも利用していない

問13 ★どのような条件であれば、地域活動・ボランティア活動に参加・活動しやすいですか。(いくつでも○)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1 子どもの世話や介護を代わってもらう | 7 参加することでメリットがある(報酬など) |
| 2 活動や団体に関する情報を紹介してくれる | 8 活動資金の補助や援助がある |
| 3 友人・知人と一緒に参加できる | 9 その他 |
| 4 時間や期間にあまりしぼられない | (具体的に:) |
| 5 身近なところに活動できる場がある | 10 わからない |
| 6 世話人やリーダーがいる | 11 条件によらず、参加したくない |

問14 #地域活動・ボランティア活動の情報をどのような方法で探しますか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1 市や社会福祉協議会の広報・ホームページ | 6 活動団体や大会・イベントのホームページ |
| 2 図書館・公民館などにあるポスター・チラシ | 7 SNS※で聞く |
| 3 学校や職場にあるポスター・チラシ | 8 友人・知人に聞く |
| 4 駅やお店にあるポスター・チラシ | 9 その他(具体的に:) |
| 5 ボランティアなどの募集情報サイト | 10 わからない, 関心がない |

※ SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) とは, Twitter, LINE, Facebook 等の登録された利用者同士が交流できる, コンピュータやスマートフォンなどを使用したインターネットサイトサービス。

問15 #あなたが地域活動・ボランティア活動に参加する場合, どのような点を重視しますか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1 気軽にできること(単発, 時間が短いなど) | 7 自分の将来に役立つこと |
| 2 長く続けられること | 8 自分の技能・経験をいかせること |
| 3 誰にでもできること | 9 人の役に立つこと |
| 4 体を動かせること | 10 より良い社会につながること |
| 5 多くの人と関わること | 11 その他(具体的に:) |
| 6 新しい経験や学びを得ること | 12 わからない, 関心がない |

問16 #近年, さまざまな主体による地域活動が行われています。あなたが参加しやすい活動は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|---|--|
| 1 地縁を基盤とする活動(自治会・地区協議会・老人クラブ・マンション管理組合など) | |
| 2 特定分野の法人を基盤とする活動(NPO 法人・社会福祉法人など) | |
| 3 同じ趣味・志向をもつ人達の活動(趣味の同好会・教室・子育てサークルなど) | |
| 4 学校などを基盤にする活動(保護者会・PTA・おやじの会など) | |
| 5 その他(具体的に:) | |
| 6 わからない, 関心がない | |

4 暮らしのことについておたずねします

問17 #新型コロナウイルス感染症の流行により、あなたの暮らしにどのような影響がありましたか(影響があった時期は問いません)。(それぞれ1つに○)

	増えた	変化なし	減った	事柄が該当しない わからない
回答例	①	2	3	4
ア 勉強や学習などのスキルアップに充てる時間	1	2	3	4
イ 人と直接会って話す機会の頻度	1	2	3	4
ウ 人と電話やLINEなどで話す頻度	1	2	3	4
エ 保育サービス、福祉サービスなどの利用頻度	1	2	3	4
オ 興味や関心のあることに充てる時間	1	2	3	4

問18 ★これまでに経済的に困った経験がありますか。(1つに○)

- | | | |
|--|---|------|
| 1 現在困っている
2 現在は困っていないが、困ったことがある
3 困ったことはない | } | →付問へ |
|--|---|------|

付問# 前問で「1~2(困っている, 困ったことがある)」と答えた人におたずねします。困っている(困った)原因は何ですか。(いくつでも○)

- | |
|--|
| 1 仕事・収入が減った・仕事を辞めた
2 家賃・住宅ローン・借入金が増えた
3 自分が病気になった
4 看病・介護・介助・育児などで支出が増えた
5 看病・介護・介助・育児などで働く時間が削られた・仕事を辞めた
6 学費・教育費が増えた
7 医療費が増えた
8 収入(年金を含む)が少なく、生活費を賄えない
9 その他(具体的に: _____) |
|--|

問19 ★# あなたの地域で次のような世帯を見たり、聞いたりしたことがありますか。(いくつでも○)

- | |
|---|
| 1 子育てと親の介護に、同時に直面して困っている世帯(ダブルケア) |
| 2 高齢者の親と、就労していない独身の中高年の子どもで構成されている世帯(8050 問題) |
| 3 支援が必要と思われるが、地域と関わりをもたない世帯(孤立世帯) |
| 4 高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯(老老介護) |
| 5 ごみが処分されていない世帯(ごみ屋敷) |
| 6 ひきこもり状態の人が適切な支援に結び付けられていない世帯(ひきこもり※1) |
| 7 家族の間で虐待が疑われる世帯(虐待) |
| 8 未成年の子どもが家族の介護などによって自分の時間をもてない世帯(ヤングケアラー※2) |
| 9 生活困窮や家族関係など、複数の困りごとを抱えている世帯(複合的な課題) |
| 10 上記以外で、深刻な課題を抱えていると思われる世帯
(具体的に:) |
| 11 特に見かけたことはない |

※1 ひきこもりとは、さまざまな要因が重なって社会的な参加の場面がせばまり、就労や就学などの自宅以外での生活の場が長期にわたって失われている状態のこと。

※2 ヤングケアラーとは、本来、大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを子どもが日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことをできないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子どものこと。

問20 # ご近所で、支援も受けずに困っている世帯を発見した場合、どのように行動しますか。(1 つに○)

- | | |
|----------------------------|---------|
| 1 自分で様子を見に行く | 4 何もしない |
| 2 近隣の人や自治会役員に連絡・相談する | 5 わからない |
| 3 市の相談窓口や相談機関、警察などに連絡・相談する | |

問21 ★日常生活での困りごとを相談できる人や機関はありますか。(いくつでも○)

1 同居の家族
2 別居の家族や親戚
3 自治会や近所の人
4 友人・知人
5 民生委員・児童委員
6 地域福祉コーディネーター※1
7 ケアマネジャー(介護支援専門員)・ヘルパー(介護員)などの事業者
8 かかりつけ医や保健師などの医療関係者
9 市役所
10 社会福祉協議会
11 地域包括支援センター
12 ちょうふ若者サポートステーション※2
13 子ども家庭支援センターすこやか
14 調布ライフサポート※3
15 その他(具体的に: _____)
16 身近に相談できる人や機関はない

※1 地域福祉コーディネーター(コミュニティソーシャルワーカー=CSW)は、生活上の悩みや困りごとを抱える人に対し、さまざまな機関・団体と連携しながら課題の解決を図るとともに、住民主体の活動の促進や地域でのネットワーク構築といった取組を進める役割を担う。

※2 ちょうふ若者サポートステーションは、15～49歳対象の職業的自立のための総合相談窓口。

※3 調布ライフサポートは、経済的な理由などで困っている人に対するトータルな相談窓口。

問22 #現在、あなた自身やご家族は、どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えていますか。(1つに○)

1 ある	→付問へ	2 ない
------	------	------

付問#前問で「1 ある」と答えた方におたずねします。差し支えなければ、お困りの内容をお聞かせください。(いくつでも○)

1 自分・配偶者の健康・病気	7 住まい
2 自分・配偶者の学業・仕事	8 お金(財産管理・相続含む)
3 親の健康・病気・介護	9 人間関係, 人との付き合い方
4 兄弟姉妹の健康・病気・介護	10 その他
5 子ども・孫の学業・仕事	(具体的に: _____)
6 子ども・孫の健康・病気	

問23 ★あなたは、身近な地域の中で不安や課題と感じていることはありますか。(いくつでも○)

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1 子育て、子どもの教育のこと | 8 ご近所付き合い、友だち付き合いのこと |
| 2 健康のこと | 9 防犯、地域の安全のこと |
| 3 介護のこと | 10 災害時のこと |
| 4 老後の生活のこと | 11 気軽に相談できる人(機関)が少ないこと |
| 5 住まいや住宅のこと | 12 その他 |
| 6 仕事のこと | (具体的に:) |
| 7 経済的なこと | 13 特にない |

5 デジタルの活用についておたずねします

問24 ★#調布市の保健福祉施策(サービス)に関する情報をどこから入手していますか。(いくつでも○)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 市のホームページ | 5 家族、友人・知人からの口コミ |
| 2 市の広報紙・チラシ | 6 SNS |
| 3 市役所・相談機関などの窓口 | 7 その他(具体的に:) |
| 4 テレビ(ケーブルテレビを含む)・ラジオ | 8 特にない、情報は入手していない |

問25 #普段、スマートフォンなどの情報端末やパソコンを使っていますか。(1つに○)

- | | |
|---------|----------|
| 1 使っている | 2 使っていない |
|---------|----------|

問26 #市や社会福祉協議会の講座やイベントがオンライン開催(インターネットを介して参加する方法)されたら、参加しやすくなりますか。(1つに○)

- | | |
|------------|-------------------|
| 1 参加しやすくなる | 2 変わらない(参加しやすくない) |
|------------|-------------------|

6 市民の権利を守る取組についておたずねします

問27 #市と社会福祉協議会で行っている下記の制度や事業をご存知ですか。(それぞれ1つに○)

	知っている	(聞いたことはある 内容は知らない)	知らない	説明
ア 成年後見制度	1	2	3	認知症・知的障害・精神障害・発達障害などによって物事を判断する能力が十分ではない人について、本人の権利を守る援助者(成年後見人など)を選ぶことで、本人を法的に支援する制度。
イ 任意後見制度	1	2	3	本人に十分な判断能力があるうちに、将来、判断能力が低下した場合には、あらかじめ本人自らが選んだ人(任意後見人)に代わりにしてもらいたいことを契約(任意後見契約)で決めておく制度。
ウ 法定後見制度	1	2	3	本人の判断能力が不十分になった後、家庭裁判所によって成年後見人などが選ばれる制度。本人の程度などに応じて「後見」「保佐」「補助」の3つの制度がある。
エ 地域福祉権利擁護事業	1	2	3	虐待や消費者被害などの権利が侵害されている場合に保護・救済をすること。また、必要な情報を本人が理解しやすいように伝えたり、本人が福祉サービスなどを使う場合に相談や助言をすること。 さらには、金銭管理や社会保険料や税金などの支払いを代行することなど、本人の権利行使を支援すること。
オ 市民後見人	1	2	3	社会貢献的な精神に基づき、成年後見人などとしての必要な知識と技量を身に付け、家庭裁判所が選任した一般市民の成年後見人などのこと。 親族でもなく、弁護士などの専門職でもない第三者の立場で、判断能力が十分でない人の金銭管理や福祉サービス利用契約などを本人に代わって行い、本人の暮らしを支援する。
カ 専門職紹介制度	1	2	3	第三者後見人による支援を必要としている市民に、多摩南部成年後見センターに登録している弁護士・司法書士・社会福祉士を紹介する制度。

問28 #ご自身の判断能力が低下し、財産の管理や身の回りの手続きなどに支援が必要となった場合、誰に支援をしてほしいですか。(2つまで○)

1 家族・親族	4 市民後見人
2 友人・知人	5 その他
3 成年後見人(弁護士・司法書士・社会福祉士など)	(具体的に:)
	6 わからない

7 誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします

問29 ★災害時についての不安や心配ごとはありますか。(いくつでも○)

1 老朽化など、お住まい(家屋)のこと	5 ご自身の歩行に不安があること
2 家具や家電の転倒対策が不十分なこと	6 同居のご家族の歩行に不安があること
3 食糧や日用品の備蓄が不十分なこと	7 その他(具体的に:)
4 避難所がはっきりわからないこと	8 特に不安や心配ごとはない

問30 ★#地域のつながりに対する考え方について、あなたはどのように思いますか。(それぞれ1つに○)

	とても そう思う	そう 思う	あまり 思わない	そうは 思わない
回答例	①	2	3	4
ア 障害や病気があっても自分らしく暮らすためには、地域のつながりが重要となる	1	2	3	4
イ ホームレスの問題は、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる	1	2	3	4
ウ 生活保護を受けている人の問題は、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる	1	2	3	4
エ ひきこもりやニート ^{※1} の問題は、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる	1	2	3	4
オ 家庭内の虐待を防ぐことは、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる	1	2	3	4
カ DV ^{※2} 被害を防ぐことは、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる	1	2	3	4
キ ひとり親家庭や子どもの貧困の問題は、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる	1	2	3	4
ク 認知症や老老介護の問題は、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる	1	2	3	4

※1 ニートとは、若者のうち、学校や仕事に行かず、求職活動や職業訓練などをしていない人。

※2 DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、配偶者や恋人など親密な関係にある(またはあった)者から振るわれる暴力。身体的な暴力だけでなく、精神的・経済的・性的な暴力など、あらゆる暴力を含む。

問31 ★#市内のバリアフリーについて、どのように感じていますか。(それぞれ1つに○)

	とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	わからない
回答例	①	2	3	4	5
ア 車いすの人や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす, 幅を広げるなど)	1	2	3	4	5
イ 公共施設や病院などのスロープ, エレベーターやエスカレーター	1	2	3	4	5
ウ 車いすの方や乳幼児を連れた方など, 誰もが使いやすいトイレ	1	2	3	4	5
エ 歩きやすいように障害物(商品や看板, 放置自転車, 電柱など)が取り除かれ, 段差や凹凸が少なく, 十分に幅のある歩道や道路	1	2	3	4	5
オ 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	1	2	3	4	5
カ 車いすやベビーカーで乗降しやすい超低床バスやリフト付バス	1	2	3	4	5
キ 障害者用の駐車場	1	2	3	4	5
ク 大きな文字・絵・複数の言語を用いた, 誰もがわかりやすい案内標示	1	2	3	4	5
ケ 手話のできる職員が配置されていたり, 音声ガイドがある施設	1	2	3	4	5
コ 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	1	2	3	4	5
サ 公園, 道路などを含む, まち全体のユニバーサルデザイン※	1	2	3	4	5
シ 高齢者, 子ども連れの家族, 障害や病気などに配慮する人々の意識や接し方	1	2	3	4	5

※ ユニバーサルデザインとは, 障害の有無・年齢・性別・人種などに関わらず, 多様な人が利用しやすいよう, 事前に環境などをデザインすること。

調布市民福祉ニーズ調査【市民(18歳以上)】

問32 #誰もが暮らしやすいまちづくりに向けて、病気・障害・国籍・生活習慣などの違いによる心理的な障壁を取り除く(心のバリアフリー)ために、特に必要な取組は何だと思えますか。(2つまで○)

1 学校において、お互いを理解し、思いやる心を醸成するための教育
2 意識啓発のための研修・講演会の開催
3 多様な背景をもつ人々が交流する機会の増加
4 わかりやすい、使いやすい情報の提供
5 その他(具体的に: _____)
6 わからない

問33 ★#調布市の保健福祉施策(サービス)をより充実していくために、特に重要と考える取組は何ですか。(3つまで○)

1 相談体制や情報提供の充実
2 利用者の立場や権利を保護・擁護する制度の充実
3 子どもから高齢者までの健康や介護予防を支援する保健事業の充実
4 在宅サービスの質と量の確保
5 施設サービス(保育園や入所施設など)の質と量の確保
6 ボランティア団体やNPOなどの育成・活動支援
7 市民同士が支え合う仕組みの充実
8 民間活力の導入による福祉サービスの確保と活性化
9 市民・関連団体・行政の連携と協働の推進
10 市民への福祉意識の啓発
11 その他(具体的に: _____)

問34 ★市民同士がお互いに支え合い、住み慣れたまちで誰もが安心して暮らすまちづくりの取組について、ご意見、ご提案をお聞かせください。(自由記述)

ア 地域活動, 市民同士の支え合い	
イ 相談, サービス	
ウ 安全・安心	
エ 上記以外	

アンケートは以上です。たくさんの質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。
調査結果は市ホームページで公表し、図書館などで閲覧できます(令和5年4月頃の予定)。